

長浜市道路整備アクションプログラム策定懇話会（第1回） 会議録

開催日時：令和7年7月30日（水）14：00～15：15

開催場所：長浜市役所 本庁3F 3-B会議室

出席委員：及川座長、鹿城委員、梅園委員、國友委員、浅野委員、柴田委員、清水委員、門田委員、川口委員、石居委員、伊藤委員、元村委員、大音委員、横尾委員、一居委員 15人

欠席委員：高橋委員、三崎委員 2人

事務局：都市建設部 久保田次長

都市建設部道路河川課 河合課長、川瀬課長代理、福永副参事、小川副参事、
下司副参事、別府主査

都市建設部北部建設課 廣西管理監、小池主幹

傍聴者：なし

議 事：1. 長浜市道路整備アクションプログラム見直しの概要

2. 評価指標及び判定基準の設定、配点重みづけ（案）

3. 評価対象路線の抽出

4. 長浜市道路整備アクションプログラム策定に係るスケジュール

事務局

開会

●あいさつ

久保田次長（都市建設部）

事務局

●委員紹介

事務局

●座長及び副座長の選任、座長あいさつ

座長選出（事務局一任） 座 長：立命館大学 及川客員教授
副座長指名（座長より指名） 副座長：横尾委員（都市建設部）

座長

及川座長あいさつ

事務局

●会議の公開について

議事について公開とする。

（傍聴者及び取材なし）

事務局

●議事

資料について説明

1. 長浜市道路整備アクションプログラム見直しの概要

2. 評価指標及び判定基準の設定、配点重みづけ（案）

3. 評価対象路線の抽出

4. 長浜市道路整備アクションプログラム策定に係るスケジュール

●質疑応答

座長

説明があったように、一度に多くの道路は整備できないので、5年以内を目安に早期に整備する路線を選定する方針です。

	選定にあたり、細かい評価指標で評価して採点し、点数の上位から短期の計画に入れるということで問題ないでしょうか。点数で並べたときに、どこまで区切るか、予算等も関係すると思いますが何路線を選ぶというのは決まっていないでしょうか。
事務局	まだ確定していません。未定ですが、前回は踏襲した形で進めていく想定をしています。
座長	100mを切っている路線も1 km以上の路線もあり様々ですが、前回と少し変わった評価項目、たとえば防災や拠点間ネットワークの強化をするなど、そういったことも含めて評価指標を更新しようということです。この段階で評価する対象は55路線あって、それぞれに点数をつけるという提案です。その点数をつけた結果は、次回の懇話会で提示されるということでよろしいでしょうか。
事務局	2回目の懇話会で評価した結果を報告させていただきたいと思っております。
座長	今日はこの評価指標について、新しい項目を入れたりしていますし、意見をいただきたい。また、これから検証する55路線、引き続きの20路線と新たに要望等も含めた35路線を評価して点数化するということに対して、どのようなご意見でも構いませんので、委員の皆様からご質問やご意見を賜りたいと存じます。
委員	今回、対象55路線ということで、引き続きが20路線あるということですが、現行の整備計画路線に書いてある名称とだいぶ違います。路線の名称が変わったとか説明がありましたが見比べたときにわかりにくいので、可能であれば何か統一してもらうような方法はできないでしょうか。
事務局	今回抽出させていただく路線につきましては新しい路線名で記載していますが、ご指摘がありましたように若干見比べにくいという課題もありますので、現行計画での旧路線名を今回の資料に併記させていただきます。今後の整備に際しては、新しい路線での整備になりますので、対照できるように括弧書き等でわかるように対応します。
委員	資料2の評価指標に費用対効果とありますが、その判定基準は、B／Cでしょうか。どのように算出するのでしょうか。
事務局	交通量推計による将来交通量に対して、事業費を道路延長で割った値で割り戻す形です。 事業費当たりの交通量が多いところが、費用対効果が高いとして、優先的に対応していくことになります。
委員	委員という立場もあり、所管の都市建設部という立場でもあるということで、お話しします。指標についてなどの説明がやや複雑であるため、個別の路線やその考え方についてのご意見をいただくことが難しいのではないかと存じます。これから道づくりをしていく中で、当然予算もありますし、行政的な目標もありますが、どのような道路整備をしていくかということについて、皆さんの中でこんな道づくりを進めていったらどうかという大きな意見もいただけると幸いです。 市として、費用対効果というような側面だけでなく、アクションプログラムを作り上げるための意見ということにとどまらず、日常生活における道路に関するお考えや課題について、ご意見いただきたいと思います。
座長	居住地域における道路事情についても、ぜひご意見をお聞かせください。そのようなご意見が将来的に反映される可能性や、評価指標への取り込みが事務局

	において検討されることもございます。日常生活において感じておられる課題やご提案がございましたら、どのような内容でも問題ございませんので、ぜひお寄せいただけますと幸いです。 例えば、小学校の通学路の安全はどこで評価されますか。
事務局	市街地形成機能から交通機能に移動して、Dの歩行者・自転車の通行確保という指標の中で評価させていただき、小中学校の通学路に指定されている路線の場合は配点がつくという形になります。
座長	今回、判定基準としては一定の安全対策が必要となるかどうかというのを加えているということでしょうか。
事務局	はい。この一定の安全対策というのについては、これからの判断の中で一概には言えない部分があるのですが、歩行者の安全確保という中で、近くにスーパー等があった場合は、お年寄りや交通弱者といわれる方も歩道があったら買い物に行くのが便利になるので一定の配慮をする、などという例も含めて、これから各路線について確認し、評価に反映していきたいと考えています。
座長	例えば、この道がたいへん混んでいるので整備してほしいというような要望は、いつもどこの自治体でも住民の方から意見をいただくのですが、交通量が多いこと対策するという点において、交通量の多さはどこで評価されるのでしょうか。
事務局	これも交通機能のところで、Aの渋滞緩和に関係します。かつ、事業着手の実現性の中の資金計画で、将来交通量が多く予想される部分については、その事業費に対する割合として効果が発揮されやすいというものは今後点数がついていく形になります。
委員	漠然とした質問で申し訳ないのですが、5年で社会経済情勢の変化に対応するために見直しということで、長浜市においてはこの5年間でどういった点が一番変わったと事務局として捉えて見直そうとされているのか、もしあれば教えていただきたいと思います。
事務局	なかなか難しい部分ではありますが、南部地域において一定数、北部地域とかから市内に家を建てられるという方もあり、開発や住宅地形成等が5年前に比べると若干変化している部分がございます。また、大型店舗等が近隣にできることもあります。そこに追従する道路が狭いままで変わらないということがあると、見直していく必要があるかと考えているところです。 また、今回滋賀県の方もご参加いただいておりますが、県道の整備の方も県の道路整備アクションプログラムに基づいて進めていただいております。その各ネットワークのつながりという部分が変わってきたということも含めて、全体的に見直しをかけたいと考えております。
委員	産業観光部では、昨年7月に第3期の長浜市産業振興ビジョンの見直しをさせていただきました。これまで本市におきましては、産業用地の確保については、空き用地の利活用という部分がありましたが、新たな産業地の確保を市内の事業者さんも求めておられますし、人口減とか若者の流出という部分が非常に悩ましく、また著しいところがあるので、産業地の確保が非常に大事だということで公表しています。 この現行計画の概要版の最初のページにも、京阪神・東海・北陸の結節点ということで小谷城スマートIC周辺の農業を主体とした6次産業化拠点整備事業という形で進めていりましたが、ご承知のとおり、加田町、加田今町、米原の長沢地区の方に37haの新たな産業用地確保ということを大きな課題として取り組んでいます。また、周辺の現行の産業に関して工業団地の拡張の話も、

	関係団体の方では協議をさせていただいていますので、そういった市の流れ、重大なプロジェクトを進めていく部分について、この道路整備アクションプログラムの中にもとり入れていただき、周辺道路の整備についても推進していただきたいと考えています。
事務局	今回の道路アクションプログラムの評価路線につきましても、庁内で照会をかけさせていただきまして、今後長浜市が進めていくべき事業の中で重要な路線として位置づけられるものについても、反映させていただいている部分があります。 先程いただいた意見に関しまして、当然、これから道路を整備していく上では市のプロジェクトというのは非常に大事になってきますので、そこを踏まえた上でしっかりと検討させていただきたいと思っております。
委員	5年ごとの見直しということなので、次は5年後に見直されると思うのですが、西浅井など、小学校の統合等で場所が変わるなどすると、通学路の変更などがあるかもしれません。5年後となると、やや先の話となりますが、そのような道路の見直しが行われた際、緊急的な対応について計画に組み込む機会があるのか否か、ご教示いただけますでしょうか。
事務局	学校の統廃合であったり、徒歩での通学がスクールバスに変わったりとか、様々な部分で変更があるという事例もあります。そういった中で、一定程度、アクションプログラムに上がっていないところでも必要な部分に関しては道路整備を対応していることもあります。大きな部分の整備はこの道路整備アクションプログラムに基づいてやっていきたいと思っておりますが、今後5年といっても緊急で色々な形で変わっていくものについては適宜反映しながら対応したいと考えています。このアクションプログラムの順位に上がっていない路線も当然出てこようかと思いますが、我々が今回評価指標の中でも点数の重みづけを高くしている安全対策などといった部分は重要だと思っておりますので、対応していきたいと思っております。
座長	他に何かございますか。
事務局	一点だけ、訂正をさせていただきます。 資料3、今回の評価対象路線で1番から20番の中に元々現行計画で上がっていた中期と長期の路線がすべて入っていると説明させていただきましたが、四角囲み番号で31番だけここには入っておりません。現行計画の31番は市道石田宮司線第2工区、2,000mという路線なのですが、こちらについては現状で石田宮司線の整備を進めさせていただいている中で、この第2工区と言われている部分を細分化させていただいた関係で、資料3の29番と30番に、第2工区と第3工区という分けた形で記載しております。また、第2工区400m、第3工区1,800mで、計2,200mという形で、評価する場所も若干変更し、分割して評価するという形になりました。旧路線名を併記する等の対応をいたします。
座長	わかりました。対応をお願いします。 私から質問ですが、評価が重要性和実現性に分かれています。どちらも合計1.0となっていますが、これはそのまま合算しますか。1.5と0.5というようにしますか。
事務局	これはそのまま合算する予定です。
座長	ありがとうございました。 今回は、10月の下旬に第2回懇話会ということで計画しておりますので、よろしくをお願いします。改めまして、開催案内の方をさせていただき、出欠報告の様式によりお伺いしますので、皆様の参加をお願いいたします。

事務局

閉会

- ・ 次回懇話会は10月下旬に開催し、評価結果に対する意見聴取を行う予定としている。

●あいさつ

事務局

廣西管理監（北部建設課）